



2026年2月10日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし
〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19
TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386
清瀬事業所/ふわっとん
〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18
TEL&FAX:042-497-9481
<https://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

とっても素敵な笑顔♪
鈴の音がこちらにも聞こえて
きそうです♪



理事長 貝沼 寿夫

入所施設の在り方

2022年に国連から「障害者権利条約」に関する総括所見が出されました。そこで入所施設に対し言及されたことを再度確認してみます。

①居住地と生活様式の見直し

障害者が、他の者と平等に「どこで誰と生活するか」を選択する機会を確保することが求められました。入所施設やグループホームなど「特定の生活様式」で生活することを義務付けられない権利が強調されました。

②脱施設化と地域生活への移行

多くの障害者が依然として大規模な入所施設や精神科病院に長期収容されている現状について懸念が示されました。それと同時に、施設から地域社会での自立した生活へ移行するための、期限を定めた明確な移行計画を策定し、実施することが政府に勧告されました。

この当時は、勧告通りに施設解体へ一気に舵を切る可能性もあるのではとの声もチラホラ聞こえてきたのは事実です。

これらを受けて2024年の報酬改定では、地域移行に対する加算や重度利用者（強度行動障害）への支援に対する加算が拡充されました。また本人の意思決定支援のためのマニュアル作成や担当者の選任、虐待防止・身体拘束等の適正化の推進などが義務付けられました。

そして昨年5月より厚労省において有識者や当事者等による障害者の地域生活支援も踏まえた障害者支援施設の在り方に係る

検討会が開催されました。計4回の検討がなされ、9月にまとめが出され、障害者支援施設に求められる役割・機能、あるべき姿が示されましたので、次に紹介します。

①利用者の意思・希望の尊重

本人の意思・希望が尊重される意思決定支援の推進

②地域移行を支援する機能

地域移行を支援する機能、地域生活への道義付け支援や意向確認への取組

③地域生活を支えるサービス・ネットワーク機能

緊急時の一時的対応、施設が持つ専門性の地域への還元、災害時等の地域拠点

④入所者への専門的支援や生活機能

強度行動障害や医療的ケア・高齢利用者への専門的支援。看取りまでの支援。居室の個室化、日中と住まいの場の分離など暮らしの質の向上に資する生活環境づくり

こうして国による検討会において、極論にはならず明確な役割機能が提示されたことは、喜ばしいことです。内容についても、ライフパートナーこぶしでは、個室化や日中と居住の分離を除けば、10年ほど前より実践しています。今後もこれらの取組を更に推進・充実させていきます。

最後に少し愚痴をこぼします。うちの施設も、地域の中にあり、地域の一員として様々な取組をしているのに、どうして移行することを地域移行と言うのでしょうか？施設Ⅱ地域の外という枠組みは、どうも納得することができません。

※2月15日(日)10:00~14:00 清瀬花の里公園 防災フェスタイベント
出店します!! 皆様のご来場お待ちしております!!

もしもに備える、いつもの公園

親子で体験! 花の里公園 防災フェスタ

参加無料 2026 2.15 日 10:00 ~ 14:00
会場: 清瀬花の里公園 清雅苑 (1階デイサービススペース)

見えて・触れて・防災体験!
起震車による地震体験
煙体験ハウス
消防ポンプ車の展示・乗車体験
子ども用防火服で記念撮影
清瀬消防署 防災なんでも相談

「清雅苑」開催 防災講座!
公団に搬送した、特別支援老人ホーム「清雅苑」で防災講座を開催!
消防ナースさんによる清瀬で起きたらどうする? 減災講座!
元消防署長による講座 「あなたの住んでいる場所は大丈夫?」
車いす体験・災害用トイレ展示、災害時の福祉用具の紹介
福祉車両展示 (ダイハツさんご協力)

使ってみよう防災ベンチ!
公園にある、「かまどベンチ」を使って、炊き出しを行います!
一緒に使ってみようというときに備える体験。公園内のフォーラムで収穫した野菜も使えます!

キッチンカー&マルシェ
キッチンカー
豚丼・中華・クレープ・ベビーカステラ
花の里マルシェ
季節野菜、果物、サンドウィッチ

特別企画 まわって学ぼう! 防災スタンプラリー
会場内のブースを回ってスタンプを集めよう!
スタンプを集めた方にはT市の催物品をプレゼント ※数量限定

清瀬 花の里公園 防災イベント実行委員会 (公園ボランティアグループ・清雅苑) 詳しくはSNSにて▶

ねえねえ、きいて

生活支援員 中島 音

一か月半ほどお休みを頂いていたのですが、久しぶりに出勤するときに利用者の方に顔を忘れてしまっているだろうと思っていました。しかし、復帰一日目にAさんに「中島さん」と名前を呼ばれました。しっかり覚えてくれていた利用者の方がいて嬉しくなりました♡

キラリ☆と光るこの一枚

サンタさんとのツーショット📷
弾けんばかりの良い笑顔です!
(花岡 穂香)

新しい環境

こぶしに入職してもうすぐ1年を迎えます。仕事には慣れてきたような、まだ未熟なような...上手くできているかな~なんて時折考えてしまう時もあります。ただ、利用者さんとの生活は楽しく刺激的で、やりがいのある日々を送っています。

利用者さんにとって生活の場、「おはよう」から「おやすみ」までを支援することは楽しいだけでなく時々大変だと感じることもあります。入職したばかりの頃と比べると利用者さんが私へ向ける笑顔の数が増えている気がします。働き始めの頃と比べると任されることも増え、責任も大きくなってきている実感がありますが、成長と捉えて楽しく進んでいきたいと思えます。

入職してから様々なイベントにも掛かることが出来ました。全てのイベントに参加することは叶いませんでしたが、2026年のイベントは更に盛り上げて参加したいと思えます。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

生活支援員 馬場 翔哉

写真についてはご本人(代理人又は成年後見人)の同意を得て掲載しております。

フォトニュース ～1月の様子～

♪活動・余暇♪



新年会は残念ながら中止となりましたが、皆で豪華なお弁当を美味しくいただきました！保護者会の皆様ありがとうございました！



☆こぶしボランティア情報☆

こんにちは！こぶしボランティア担当の佐藤です！

毎日毎日寒いですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、昨年行われたこぶし祭りにはボランティアさんが



10名ほどいらっしゃってくださりました。ボランティアさんのおかげでこぶし祭りも大成功に終わったと言っても過言ではありません！これを見ているそのアナタ！こぶしでボランティアしてみませんか？こぶしでは、こぶし祭りを始め、楽しい行事や生活に関わるボランティアさんを随時募集しております。

ガーデニングやお掃除、コミュニケーション、自身の趣味や得意なことをこぶしでボランティアとして活かしてみませんか。ぜひ興味がありましたら、ライフパートナーこぶしボランティア担当の佐藤までご連絡ください♡

お問い合わせ：042-470-2385

バスタオルのご寄付大募集！！

ご自宅で使用されていない、または処分を検討されているバスタオルやタオルケットなどがございましたら、足元用マットとして使用させていただきます。ご不要でしたら是非こぶしにご寄付をお願いいたします！



選んだ場所で、願いを込めて

またまた私の順番が回ってきましたね。どうも日中活動支援部部長の丸山です。

突然ですが、皆さんは初詣に行きましたか？私は茨城県の笠間稲荷神社に、日帰りでお参りました。私自身あまり初詣にはお参りしませんが、今回は友人に誘われてお参りました。そこで皆さんに質問ですが、初詣に毎年お参りしますか？また何処でお参りをしますか？私のように遠出する方もいれば、地元の神社や有名なご利益のある神社に、お参りの方もいらっしゃると思います。私自身は過去に明治神宮に初詣にお参りした事がありますが、あまりの人混みに疲れてしまったのを覚えています。それでも人によっては、ご利益を求めてお参りされるのだと思います。

さてお参りといえば、願掛けだと思いますが、皆さんはどんな願掛けをしますか？私の願掛けは金運上昇と、それ以外は…内緒です。皆さんそれぞれ健康や出会い・金運など、願掛けの内容は様々だと思います。結果的に願いが叶ったと思えるかは、個人の判断だと思いますが、自身で場所を選んだうえで、願掛けをされているので、大抵の方は納得していると思います。

ここで大切なのは、お参りの場所や願掛けするのに、自分が行きたい場所を選び、叶えたい願いがある事です。これは、こぶしの利用者さんにも同じ事が言えます。こぶしの利用者さんに置き換えた時、普段の生活場面が中心になると思います。利用者さんが余暇に外出したい場所や、外出先で取り組んでみたい事を、職員が把握できる事が大事だと思います。実は利用者さんは、余暇に映画館にお参りしてみたい、テーマパークにお参りしたいと思っているかもしれません。それこそ私のように、日帰りで地方にお参りしたいと思っているかもしれません。さらに想像の域ですが、地方にお参りした時に、そば打ち体験や海でクルージングを楽しみたいと考えているかもしれません。

実現できる事は限られるかもしれませんが、「場所」や「やってみたいこと」を様々な方法で聞き取り、意思を汲み取る事が大切だと思います。今後の利用者さんの支援の中で、意思を汲み取れる方法を模索し、取り組みたいと考えています。

日中活動支援部部長 丸山 耕太郎



幸甚に存じます

私は2019年4月1日社会福祉法人龍鳳に入職しました。4年3ヶ月をライフパートナーこぶし(入所施設)で過ごし、2023年7月1日にライフパートナーこぶし清瀬事業所(就労継続支援B型施設)に異動しました。清瀬事業所は今年度で2年9ヶ月を過ごしました。

清瀬事業所での期間を振り返ると、利用者さんの積極性・挑戦する姿勢・学びたいという気持ちがとても増えたと感じています。休み時間、私がおふざけをすると「なんでやねん！」と皆からツッコミがあったり、笑いとお参りして溢れています。私は「利用者さんの成長、福祉施設と横のつながり、自分達でイベント販売を企画すること」を目標に、楽しみながら取り組みました。ここで働かせていただいたことを幸甚に思います。

「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」これからも、理想の自分を想像し、望む未来を実現していきます！！

生活支援員 照井 邦明